

豊かな実績・確かな信頼

Manol[®]

急硬・仕上・補修用

- 色:セメント色 ●砂入り
- 再乳化粉末樹脂配合

サクサク削れる!



削り成形



削り成形



水で
練るだけ



NET10kg または 2kg×7袋/箱

スピーディ

カットモルタル

粉末樹脂一材型速硬モルタル

セメント混和・助材総合メーカー



株式会社 **マノール**[®]

<http://www.manol.co.jp/>

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1304001
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

本社・東京営業所 / 〒120-0047 東京都足立区宮城2-4-16 TEL.03(3927)1331 FAX.03(3927)1334
 福島営業所 / 〒960-8075 福島県福島市下野寺字遠原3-2 TEL.024(591)1131 FAX.024(591)1127
 盛岡営業所 / 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ2-1-17 TEL.019(641)1131 FAX.019(641)1332
 大阪営業所 / 〒535-0005 大阪府大阪市旭区赤川2-1-26 TEL.06(6927)3132 FAX.06(6927)3130

ISO9001:2008 本社、東京工場、福島工場、認証取得

用途

カットモルタルはこんなところにご利用いただけます。

● 配管工事後の埋め戻し補修

● コンクリート壁面の欠け補修

● コンクリート二次製品の欠損補修



特徴

- 速硬化の為、約2時間で開放可能です。
- 粉末樹脂が既調合されている為、水で練るだけの簡単施工です。
- 約10分～15分で硬化し、30分～40分で成形可能です(20℃の場合)。

荷姿
標準仕様

カットモルタル	水	練上り量	一回の塗厚
10kg	2.2~2.4kg	約6.8ℓ~約7.0ℓ	0~25mm
2kg	0.44~0.48kg	約1.36ℓ~約1.4ℓ	

※ 一回の塗厚は300mm角以下の欠損部の場合です。

	気温30℃	気温20℃	気温5℃
凝結時間	5~10分	10~15分	30~45分
成形可能時間	15~20分	30~40分	60~70分

※ 施工時の気温、水温、躯体や養生温度により硬化・成形時間が異なりますのでご注意ください。

材令	圧縮強度 (N/mm ²)	曲げ強度 (N/mm ²)	接着力 (N/mm ²)
2時間	14.0	3.0	—
7日	28.0	4.5	1.5
28日	32.0	6.0	2.0

試験条件 水 / 粉体比:23%

強度試験:JIS-R-5201

接着力試験下地:JISコンクリート平板 水湿し 塗厚5mm

施工方法

下地処理・吸水調整

下地のレイタンス、脆弱部、埃や油分などをワイヤーブラシ等で清掃・除去してください。その後、吸水調整材として十分な水湿しを行ってください。

混練・塗付け

カットモルタル10kgに対して水を2.2kg~2.4kgの割合で、カットモルタル2kgに対して水を0.44kg~0.48kgの割合で約3分間混練してください。コテ圧をかけながら、下地により密着させるように塗付けてください。

成形・仕上げ

20℃の場合、約30~40分で成形可能です。金ゴテや金属製のヘラ・カッターなどで躯体方向に向かって少しずつ削り成形してください。

養生・完成

成形後、表面を均して施工完了です。急激な乾燥を避け、適切な養生を行ってください。

注意事項

- 速硬タイプです。一度に施工可能な量で混練りしてください。
- 混練不足はひび割れの原因となりますので、しっかりと混練してください。
- 削る際は手前から躯体に向けた方向で成形してください。
- 成形可能時間は上記の表をご参考ください。時間が経過しすぎると成形できなくなりますのでご注意ください。
- 大きな欠損部(300mm×300mm以上)に使用する場合は弊社までお問合せ願います。
- 5℃以下での施工は避けてください。また、練上り温度は5℃以上を確保してください。

特約店

■ PL法に基づく記載

分類	●セメント系プレミックスモルタル
△注意 取扱上の注意事項	●取扱時は、必ず保護具(保護手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用してください。 ●取扱は、換気の良い場所で行ってください。 ●取扱後は、うがい・手洗いをし、使用した工具類は速やかに水洗いしてください。
応急処置	●目に入った場合は、多量の水で洗浄し、医師の診断を受けてください。 ●皮膚に触れた場合は、多量の水にて洗浄し、必要に応じて医師の診断を受けてください。 ●誤飲した場合は、直ちに医師の診断を受けてください。
保管方法	●粉体は吸湿性がありますので、湿気厳禁で保管してください。
その他の注意事項	●輸送時、落下、転倒、破損等がないようにしてください。 ●廃棄する場合は、都道府県条例に基づいて処理してください。 ●粉体が混和した排水は、海、河川、湖沼、池、下水等へ流入すると汚濁汚染することになるので絶対に破棄しないでください。